



LIXIL
Link to Good Living

株式会社 LIXILグループ
株 主 通 信

2015年9月中間ご報告
2015年4月1日～2015年9月30日

証券コード 5938

グループ経営理念 LIXIL TETRA

LIXIL CORE (企業理念)

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献します。

LIXIL VALUES (共有価値)

One LIXIL for Good Living ...
一つにつながるValues

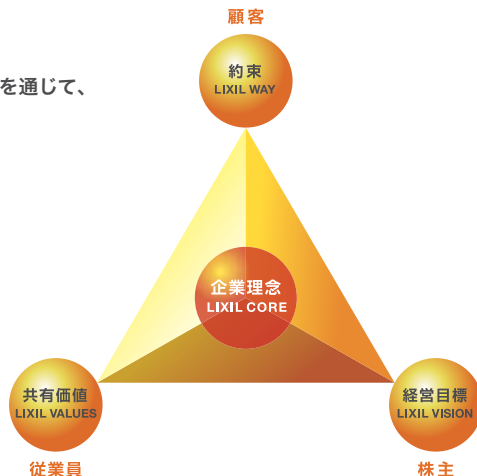
Work with Respect

Deliver on Commitment

Embrace Quality

Inspire Passion

Pursue Growth



LIXIL WAY (私たちの約束)

1. LIXILのありたい姿

地球と調和する「暮らしの理性」を創造する。
[Link to the Earth](#)

2. LIXILの使命

お客様の、良い暮らしにつながる「絆」を作る。
[Link to Good Living](#)


3. LIXILの提供価値

確かな品質 Link to Quality	高い技術 Link to Technology
美しい環境 Link to Environment	豊かな感動 Link to Emotion

LIXIL VISION (経営目標)

住生活産業における
グローバルリーダーとなる。

Link to Good Living





真のグローバル企業に向けて、 新たなステージが始まりました

取締役 代表執行役社長 兼 CEO

藤森義明

当上期の業績

当上期においては、真のグローバル企業となるために、グループの体制を4テクノロジー事業を中心とした新事業モデルに移行し、また、グローバルへ追加出資して同社を連結子会社化しました。

日本会計基準における売上高は、前年同期比10.2%増の8,774億円となりました。この大きな増益の要因として、第2四半期からグローバルの業績が損益に反映され、同社の3カ月間の売上高451億円が上乘せされたことが挙げられます。また、既存事業においても、LIXILウォーターテクノロジーの

メリカスタンダード・ブランドの北米事業やLIXILビルディングテクノロジーのペルマスティリーザが売上を伸ばしました。日本ではリフォーム売上が前年同期比10%増加した一方、新設住宅着工の回復の遅れから新築向け売上は5%減少しました。

営業利益は前年同期比2.4倍の320億円となり、上期としては過去最高益となりました。8月に修正発表した上期業績予想からも120億円上振れました。これはまず、グローエの新規連結によって、グローエ自体の営業利益が63億円、のれん・

無形固定資産の償却費用71億円、退職給付債務の数理差異109億円が計上され、合計101億円の増益効果となりました。国内においては、円安による輸入資材のコストアップや資材価格の上昇があったものの、販売ミックスの良化や製造コスト・販管費削減が奏功しました。

一方で、特別損失として関係会社投資関連損失を281億円計上しました。グローエの子会社であったジョウユウ(本社:ドイツ、主に中国での水栓金具・衛生陶器製造)の中国子会社の保証債務を履行して330億円を金融機関に支払い、第1

四半期で同額を関係会社関連投資損失に計上しました。その後、ジョウユウの破産手続が開始され、また保証債務履行の求償債権のうち49億円を回収したことから、第2四半期累計では差引の281億円となりました。

これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純損失(累計)は229億円となりました。

1株当たり配当金は当初計画のとおり、中間は30円で確定、年間は60円の予定です。

第2四半期累計(上期)の実績

(単位:億円)

	15年3月期 上期実績 (訂正後)	16年3月期上期			
		予想 ^{※1}	実績	前年 同期比	予想比
売上高	7,962	8,800	8,774	10.2%	△0.3%
営業利益	133	200	320	141.2%	60.2%
四半期純利益 ^{※3}	34	△180	△229	—	—

※1 2015年8月7日公表

※2 2015年11月2日公表

※3 親会社株主に帰属する四半期純利益

※4 親会社株主に帰属する当期純利益

通期の業績予想

(単位:億円)

	15年3月期 実績	16年3月期	
		予想 ^{※2}	前期比
売上高	16,734	18,550	10.9%
営業利益	517	620	20.0%
当期純利益 ^{※4}	220	50	△77.3%

One LIXILへの改革

ステージ 1

5社統合による
LIXIL基盤の確立

ステージ 2

海外成長に向けた
基盤作り

ステージ 3

真のグローバル企業へ

ビジョン

2020年までに世界で最も企業価値が高く、
革新的で信頼されるリビングテクノロジー企業となる

通期業績予想の修正

通期業績予想について、売上高は流通・小売り事業の建デポ事業を10月から分社化したことに伴い、同事業の半期分150億円を減額して1兆8,550億円としました。営業利益については、上半期の営業利益が6月に発表した当初業績予想95億円を225億円上振れました。このうち109億円がグローエの退職給付数理差異によるものなので、金利情勢によっては下半期に減少する可能性もあることから、通

期の営業利益予想は保守的に100億円を上乗せして、620億円としました。

中期経営戦略の策定

当社グループは、グループのシナジー効果を推進し真のグローバル企業となるために、2018年3月期までの目標と方向性を示す「中期経営戦略」を9月に発表しました。今回は“Redefining the Future”(自らの未来を再設定する)と題し、LIXIL発足以来の4年間の変革を振り返り、

新たな未来を創る、というコンセプトとしています。

当社グループは2011年の統合からの2年間は「5社統合によるLIXIL基盤の確立」を行い、次の2年間は「海外成長に向けた基盤作り」としてアメリカンスタンダード・ブランド、グローエといった海外の会社の買収を行ってきました。そして今年4月には4つのテクノロジー部門を中心とした新事業モデルを構築し、「真のグローバル企業へ」のステージに入りました。

今やLIXILは、グローバルプレゼンス(世界的な展開および存在感)、



マネジメント、企業文化、いずれの面においても、完全に異なる企業に生まれ変わりました。そして今後も業界のグローバルリーダーとして発展していくために、私たちは2020年までに「世界で最も企業価値が高く、革新的で信頼されるリビングテクノロジー企業となる」ことを目標に掲げました。

この未来を確実なものにするために、株主の目線に立った経験豊富でグローバルな経営陣を形成しました。さらに、本社機能を充実させて、コーポレートガバナンスの強化を進めていきます。人事面では、実力主義の徹底のため世界共通の人事制度を導入し、さらに将来を担う人材育成を充実させて、次世代リーダーを育てる「グローバル・リーダーシップ・トレーニング」を開始しています。

中期の具体的な数値目標としては、7ページ下の表にあるように、2018年3月期までの3年間で平均成長率5.4%を目標に売上高2兆円を目指します。2018年3月期の事業利

益^{*}は1,000億円以上を目指します。

※事業利益:

日本会計基準の営業利益に相当する、国際財務報告基準(IFRS)での利益。当社は2016年3月期末よりIFRSを適用するため、中期経営計画では営業利益の代わりに事業利益を用います。

各テクノロジー事業の戦略概要

■LIXILウォーターテクノロジー(LWT)

LWTは、世界をリードするLIXIL、INAX、グローエ、アメリカンスタンダードなどの各ブランドから構成され、幅広いデザイン、技術、価格帯の水まわり製品を、業界最強のマルチ・チャンネルのネットワークを通じて供給しています。革新的な製品、販売チャンネル拡大、クロスセル強化、および新商品開発期間の短縮などによりグローバルビジネスをさらに成長させて、LWTの2018年3月期の売上高は、7,030億円を計画しています。2018年3月期の事業利益は700億円を見込み、これは3年間で35.1%の年平均成長率に相当します。

■LIXILハウジングテクノロジー(LHT)

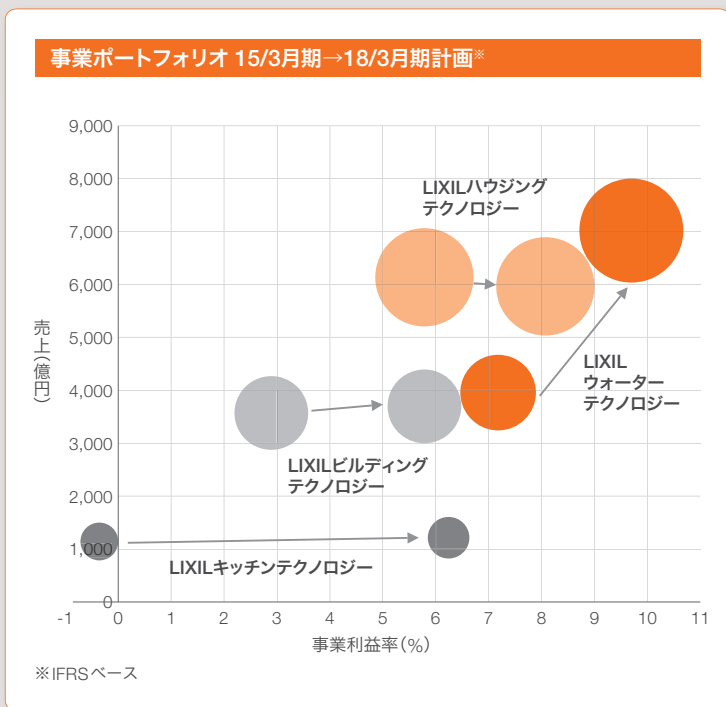
LHTは、包括的な製品とソリューションで、日本の住宅市場における主導的な立場を確立しています。今後は国内の新築需要低下により売上は横ばいが想定されるものの、成長を続けている日本のリフォーム市場や、非住宅市場向け

の新商品開発にも積極的に取り組み、利益率改善を推進しています。また、グローバル展開も拡大していきます。LHTの2018年3月期の売上高は、事業ポートフォリオの最適化、商品の競争力強化、グローバル化、およびその他の要因に基づき5,910億円を見込み、事業利益は

480億円に拡大すると予想しています。

■LIXILビルディングテクノロジー(LBT)

LBTは、ペルマスティリーザ、トステム、新日軽などのブランドを含み、世界主要市場で圧倒的な存在感を持つ真のグローバルプレーヤーです。



社長メッセージ

この事業は、最先端の技術と市場環境のどのような変化にも対応できる柔軟性を備えた20以上の生産拠点を持つ、グローバル・サプライチャー

ンに支えられています。LBTは、シナジー効果の追求を通じて、カーテンウォール業界で世界トップを示す実力をさらに強化し、2018年3月期に

は3,740億円の売上高を目指しています。事業利益は年平均36.7%の成長で220億円を見込んでいます。

2018年3月期ゴール(国際財務報告基準[IFRS])

売上高	事業利益	EPS(1株当たり当期純利益)	ROE(自己資本当期純利益率)
合計：2兆円 日本 : 13,840億円 海外 : 7,500億円 連結調整*1 : △1,340億円	合計：1,000億円以上 日本 : 1,130億円 海外 : 610億円 連結調整*2 : △740億円	目標：200円	8%以上

※1 セグメント間内部売上高、連結消去、および為替リスクの調整

※2 セグメント間売上、連結消去、IFRS・取得原価配分及び為替リスクの調整

(単位：億円)

	売上高		事業利益	
	2015年3月期 実績	2018年3月期 中期計画	2015年3月期 実績	2018年3月期 中期計画
LIXILウォーターテクノロジー	3,962	7,030	284	700
LIXILハウジングテクノロジー	6,114	5,910	356	480
LIXILビルディングテクノロジー	3,560	3,740	86	220
LIXILキッチンテクノロジー	1,137	1,230	△5	80
流通・小売り事業*3	1,681	2,000	97	130
住宅・サービス事業等	619	730	46	70
調整*4/本社費用他	22	△640	△347	△680
合計	17,095	20,000	517	1,000以上

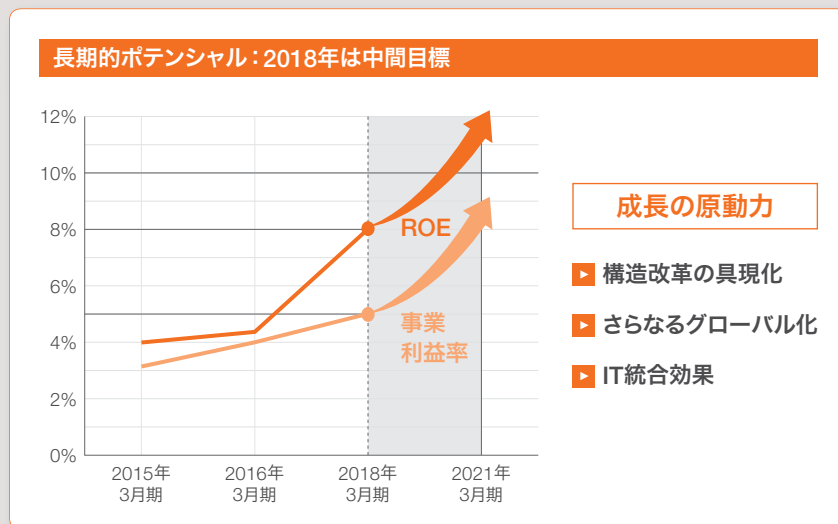
※3 建デボを除く ※4 セグメント間内部売上高、連結消去、為替リスクの調整、流通・小売り事業の建デボ事業の調整、本社費用、IT投資、取得原価配分等
 為替前提：ビジネスユニットレベル-実績：1US\$=105円、1ユーロ=145円、計画：1US\$=125円、1ユーロ=140円、全社レベル-実績：1US\$=110円、1ユーロ=141円、
 計画：1US\$=120円、1ユーロ=130円

■LIXILキッチンテクノロジー(LKT)

LKTは、キッチンがますます住まいの中心に位置するようになってきていることを活かし、技術とデザインを融合しながら、需要と価値の拡大を目指します。すでに日本市場のリーダーとしての地位を確固たるものにしてこの事業は、リフォーム事業の拡大と、中高級品へのシフトを進めていきます。さらに、グローバルリーダーとなるためにアジアを皮切りに海外での事業を拡大・成長させていきます。LKTの2018年3月期の売上高は、中国市場での拡大や製品のイノベーションなどの要因を推進源として、1,230億円を目指します。事業利益は、80億円に達する見込みです。

■LIXILジャパンカンパニー(LJC)

4つのテクノロジー事業は、それぞれがグローバルな販売およびマーケティング部門を備えていますが、日本市場での販売とマーケティングは、LIXILジャパンカンパニーが統括して行い、トータルソリュー



ションによってお客さまからの需要に応えます。日本での新規住宅着工件数は今後伸び悩みが見込まれますが、LIXILジャパンカンパニーは、拡大を続けている8兆円の規模を持つリフォーム市場と8兆円規模の非住宅市場でのビジネスチャンスをさらに追求していきます。

これらの計画を着実に進め、2018年3月期を中間目標として、その先のさらなる成長へつなげ、真の

グローバル企業への道を邁進していきます。

株主の皆さまには、成長していく当社グループへ引き続きご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



お客さまの日々を大切にしたい
そんな思いからLIXILの商品は生まれています。

TOPICS

01

中高級クラスのシステムバスルーム「SPAGE」と洗面化粧台「LUMISIS」の販売が好調

昨年発売した中高級水回り商品、システムバスルーム「SPAGE（スパージュ）」、ならびに最上位グレード洗面化粧台「LUMISIS（ルミシス）」が、当初の販売目標を上回り、それまでの同価格帯商品の販売実績を超えて（同価格帯商品前年比：SPAGEで140%、LUMISISで120%）好調に推移しています。住宅を所有してから年月がたっており、リフォーム適齢期を迎えている50代・60代の方々の消費が、好調な販売数を牽引しています。

S P A G E



「LUMISIS」

「LUMISIS」には、業界初[※]の3つの新技术を搭載しています。カウンターには新開発の製法を用いた人造大理石「ラピシアカウンター」を採用。水栓金具は、自動／手動の切替操作不要で吐水を可能にしたタッチレス水栓「ナビッシュ」を新開発。さらにミラーキャビネットにはLED照明を縦に配置し、業界初の調光機能を備えた「フェイスフルライト」を搭載しています。

※2014年3月26日時点

 <http://www.lixil.co.jp/lineup/powderroom/lumisis/>

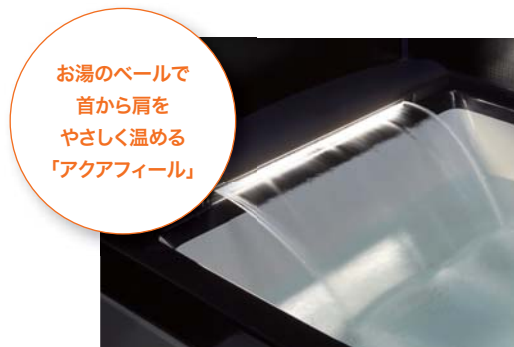


艶やかな鏡面仕上げで滑らかな手触りを実現「ラピシアカウンター」

「SPAGE」

「SPAGE」は、“お風呂を愛する国のバスルーム”として、“湯を、愉しむ。時を、味わう。”くつろぎの空間と体験をご提案する新発想のシステムバスルームです。厚さ約4mmのお湯が首から肩を優しくなでるアクアフィルの「肩湯」は、お湯のペールをまとうような新しい感覚を生み出します。吐水口の形状設計から、吐水角度の追求まで、LIXILのこだわりが詰まった新機能です。

 <http://www.lixil.co.jp/lineup/bathroom/spage/>



お湯のペールで首から肩をやさしく温める「アクアフィル」

TOPICS 02 高性能ハイブリッド窓 「サーモスX」が 「2015年度グッドデザイン賞」を受賞

「サーモスX」は、アルミに代わり主流となりつつある、アルミと樹脂の複合構造をベースに、断熱性を飛躍的に向上させた次世代の高性能ハイブリッド窓です。従来のアルミ樹脂複合窓では実現できなかった樹脂窓同等の断熱性能を実現し、明るい室内と開放感のある高い眺望性を可能にします。

 http://www.lixil.co.jp/lineup/window/samos_x/

SAMOS X



営業報告

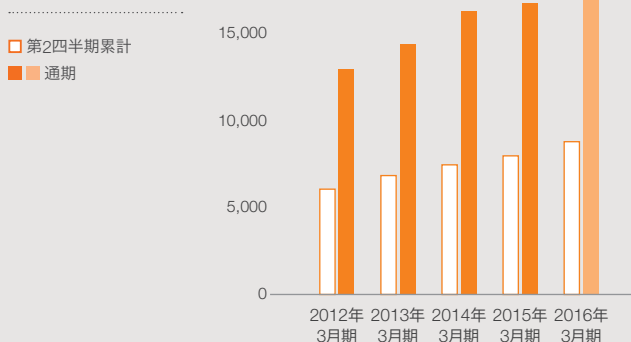
主な経営指数の推移〈連結〉

	当第2四半期 累計期間 自2015年4月 1日 至2015年9月30日	前第2四半期 累計期間 自2014年4月 1日 至2014年9月30日	前期 自2014年4月 1日 至2015年3月31日
売上高(百万円)	877,415	796,178	1,673,405
営業利益(百万円)	32,044	13,283	51,674
経常利益(百万円)	26,559	12,720	57,862
四半期(当期)純利益又は純損失(△)(百万円)*	△22,878	3,415	22,012
純資産(百万円)	658,496	595,910	613,651
総資産(百万円)	2,155,097	1,745,095	1,875,249
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	26,356	39,665	138,931
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	47,221	△23,450	△129,228
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△100,376	△20,715	10,009
現金及び現金同等物の四半期(当期)末残高(百万円)	132,512	130,833	160,377
自己資本比率(%)	26.3	33.6	32.1
自己資本当期純利益率[ROE](%)	—	—	3.7
1株当たり四半期(当期)純利益又は純損失(△)[EPS](円)	△79.87	11.68	75.46
1株当たり純資産[BPS](円)	1,973.54	2,001.11	2,104.27
1株当たり四半期(年間)配当金(円)	30	30	60

*親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は純損失(△)

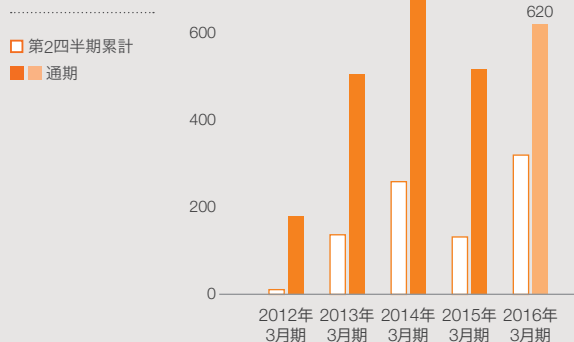
売上高

(単位:億円)



営業利益

(単位:億円)

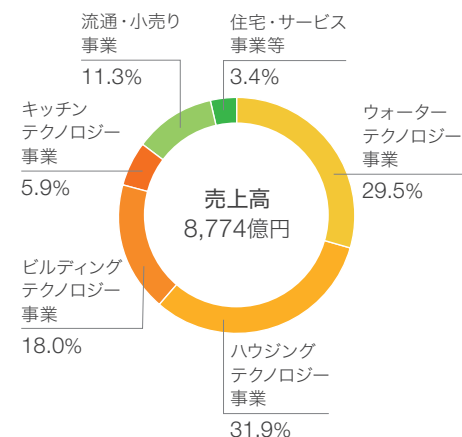


セグメント情報

セグメント別の営業状況

	当第2四半期 累計期間(上期) (億円)	前第2四半期 累計期間 (億円)	前年 同期比 (%)
売上高	8,774	7,962	10.2
ウォーターテクノロジー事業	2,651	1,953	35.7
ハウジングテクノロジー事業	2,869	2,952	△2.8
ビルディングテクノロジー事業	1,615	1,461	10.5
キッチンテクノロジー事業	532	531	0.2
流通・小売り事業	1,015	979	3.7
住宅・サービス事業等	301	293	2.9
(全社・消去)	△209	△207	—
営業利益	320	133	141.2
ウォーターテクノロジー事業	298	102	190.5
ハウジングテクノロジー事業	193	169	14.1
ビルディングテクノロジー事業	△21	8	△351.0
キッチンテクノロジー事業	6	△26	—
流通・小売り事業	44	35	23.7
住宅・サービス事業等	25	21	21.6
(全社・消去・のれん償却等)	△224	△178	—

売上高内訳(当上期)



報告セグメントの変更について

2015年4月に4つのテクノロジー事業を幹とした新しい事業モデルに移行したことに伴い、セグメント区分を「ウォーターテクノロジー」「ハウジングテクノロジー」「ビルディングテクノロジー」「キッチンテクノロジー」「流通・小売り」「住宅・サービス」の6区分へ変更しました。

なお、ここでのセグメント別営業利益については「のれん償却、取得原価配分前セグメント利益」を記載しています。

セグメント情報

ウォーターテクノロジー事業

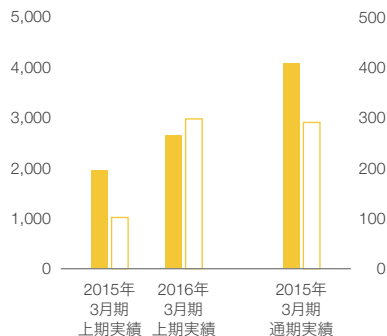


水回り(キッチンを除く)を扱う当事業では、第2四半期からグローエが新規連結し451億円の増収効果となり、またアメリカンスタンダード・ブランドの北米事業や日本国内のリフォーム売上が好調で、売上高は35.7%の増収となりました。営業利益は、グローエの新規連結の影響が一時的要因の退職給付数理差異やのれん償却の影響を含めて差引き101億円の増収要因となったこともあり、前期比2.9倍の増収となりました。

売上高・営業利益の推移

(単位:億円)

■ 売上高(左軸)
□ 営業利益(右軸)



ハウジングテクノロジー事業

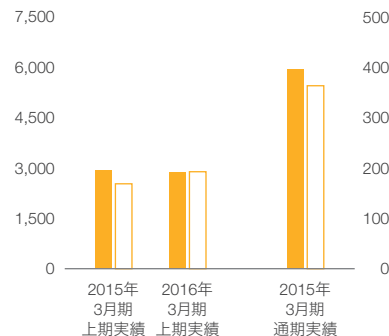


サッシ・ドア、エクステリア、インテリア等の多彩な建材を扱う当事業においては、持家住宅着工の回復の遅れ等から売上高は2.8%の減収でしたが、住宅用サッシ類は増収となり、中でもリフォーム用内窓「インプラス」(写真)は省エネ住宅ポイントの追い風もあり売上高が7割伸びました。費用面では、製造コストや販管費の削減に努めたこと等から営業利益は14.1%の増収となりました。

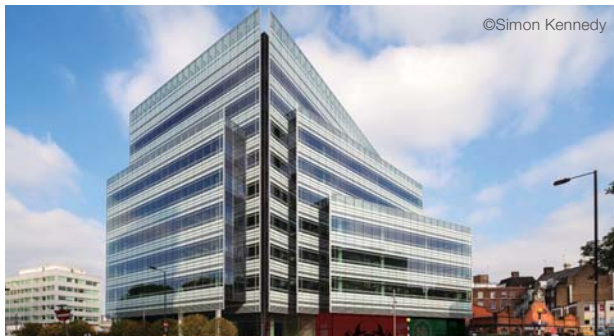
売上高・営業利益の推移

(単位:億円)

■ 売上高(左軸)
□ 営業利益(右軸)



ビルディングテクノロジー事業

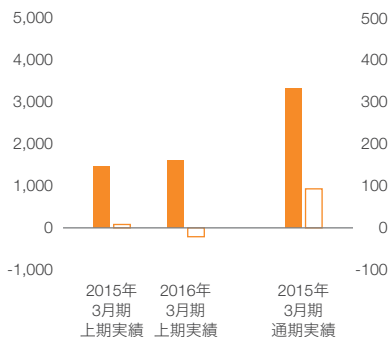


カーテンウォール等ビル用建材の当事業において、ペルマスティリーザの米国や英国での受注増や、日本においても都市部を中心に需要が回復しているため、売上高は10.5%の増収となりました。しかし、アジア等の一部の物件での採算悪化や、中国の上海美特カーテンウォールにおいて、現地の経済減速に伴い回収不能と見込まれる長期請負工事に係る債権に対し引当金を計上したこと等から、営業損失となりました。

売上高・営業利益の推移

(単位:億円)

■ 売上高(左軸)
□ 営業利益(右軸)



キッチンテクノロジー事業

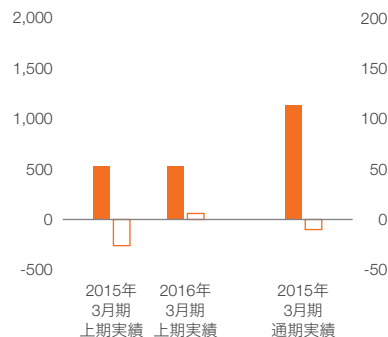


前年同期は2014年2月の大雪の被害で供給制約や費用増といった特殊要因があったため、当上期の売上高は0.2%の増収となり、営業利益は前年の営業損失から黒字転換しました。日本国内においては「サンヴァリエクリシエルSI」(写真)等高級品の販売に注力しています。中国のハイアールとの合併事業は、中国の地方都市の需要低迷で減収減益となりました。

売上高・営業利益の推移

(単位:億円)

■ 売上高(左軸)
□ 営業利益(右軸)



セグメント情報

流通・小売り事業



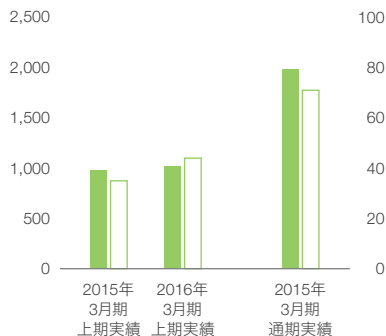
前年同期に消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減があったことや昨年度の新規出店効果があり、売上高は3.7%の増収、営業利益は23.7%の増益となり、どちらも上期で過去最高となりました。当上期は新規出店はなく、9月末の店舗数はホームセンター84店、会員制建材卸店の建デポプロ64店でした。

なお、建デポ事業の一層の成長を図るため、10月1日付で同事業を分社化し、株式会社建デポとしてスタートしました。

売上高・営業利益の推移

(単位:億円)

■ 売上高(左軸)
□ 営業利益(右軸)



住宅・サービス事業等



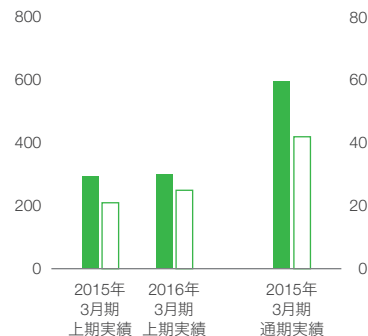
当上期は受注促進の活動強化に注力し、主要各社が増収増益となり、当事業の売上高は2.9%の増収、営業利益は21.6%の増益となりました。なお、6月にグループ会社を再編し、(株) LIXIL住生活ソリューションを当事業の持株会社としました[※]。同社では7月からWEBサイトによる住まいと暮らしのコミュニティサイト等の新規事業を開始しています。

※(株)日本住宅保証検査機構、(株)LIXILホームファイナンス、シニアライフカンパニーを除く

売上高・営業利益の推移

(単位:億円)

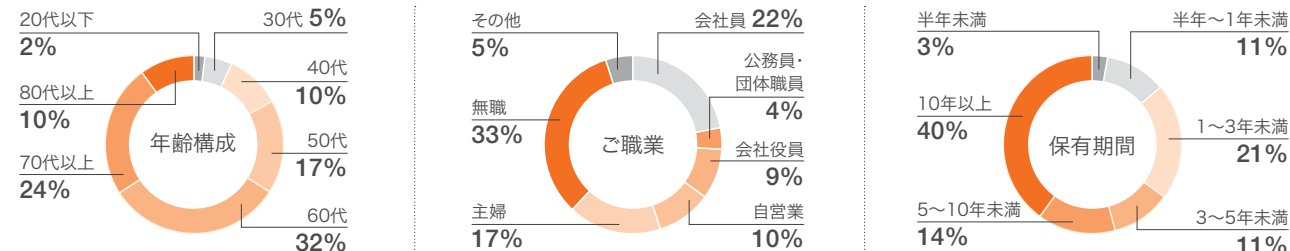
■ 売上高(左軸)
□ 営業利益(右軸)



株主さまアンケート結果

6月に実施した株主さまアンケートでは、返信数11,010通、回答率24.1%と非常に多くの株主さまからご回答と貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。ご回答の集計結果の一部をご報告します。

1 ご回答者について



2 当社株式の買い増しまたは継続保有をされている方へ、その理由(上位7位)

順位	理由	0%	10%	20%	30%	40%	50%	回答割合
1	将来性・成長性に期待しているため	[Bar chart showing 43.9%]						43.9%
2	業績の安定性に期待しているため	[Bar chart showing 13.2%]						13.2%
3	配当利回り	[Bar chart showing 9.4%]						9.4%
4	当社関係者・取引先	[Bar chart showing 6.6%]						6.6%
5	株主還元	[Bar chart showing 4.6%]						4.6%
6	知名度・ブランド	[Bar chart showing 4.6%]						4.6%
7	経営戦略・事業内容	[Bar chart showing 3.6%]						3.6%

3 株主さまからのご質問にお答えします

Q 取締役11名のうち、社外取締役がなぜ5名もいるのですか？

A 当社は「指名委員会等設置会社」制度を採用しており、経営の監督を行う「取締役」と経営の執行を行う「執行役」を分離することで、経営の透明性と執行役による迅速な業務決定を行える体制を目指しています。特に社外取締役は高い監督機能を発揮し取締役会で活発な議論が行われるよう、多様性を心がけて人選した結果、経営者・警察庁長官・公認会計士・作家・弁護士などの経験があり高い見識を持つ5名(うち日本人女性・外国人女性各1名)となりました。

4 当社へのご意見、ご要望について

前回6月にお届けした株主通信においてジョウユウ問題についてご報告したところ、お叱りの声や「海外進出やM&Aは慎重にするべきだ」といったご意見を頂戴した一方、多くの株主さまから「今回の不祥事を乗り越え、グローバル化推進に一層の努力を期待したい」等の励ましのお言葉をもいただき、ありがとうございました。また、今回も株価上昇、増配、株主優待の内容、広告宣伝強化によるLIXILの知名度向上、シャワートイレの海外での普及への要望を多数いただきました。

株式の状況 (2015年9月30日現在)

株式数および株主数

発行可能株式総数	1,300,000,000 株
発行済株式の総数(自己株式26,392,372株を除く)	286,661,883 株
株主の総数	47,013 名

大株主

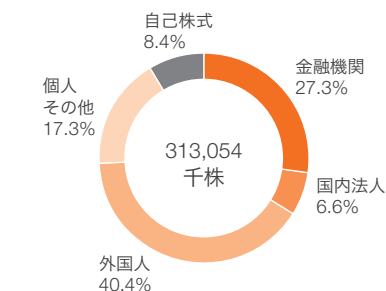
株主名	持株数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行(株)信託口	9,772 [*]	3.41%
野村信託銀行(株)信託口	8,896 ^{**}	3.10%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	8,144 ^{**}	2.84%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 (常任代理人(株)みずほ銀行決済営業部)	6,907	2.41%
JP MORGAN CHASE BANK 380055 (常任代理人(株)みずほ銀行決済営業部)	6,703	2.34%
LIXIL従業員持株会	6,659	2.32%
第一生命保険(株)(常任代理人 資産管理サービス信託銀行(株)) (株)三菱東京UFJ銀行	6,561	2.29%
THE BANK OF NEW YORK MELLON AS DEPOSITARY BANK FOR DR HOLDERS (常任代理人(株)三菱東京UFJ銀行)	5,659	1.97%
(株)三井住友銀行	5,543	1.93%

(注) 1. 上記の他に当社は自己株式26,392千株を所有しています。持株比率は、自己株式を控除して計算しています。
2. ※はすべて信託業務に係るものです。
3. 野村信託銀行(株)信託口8,896千株は潮田洋一郎氏が委託した信託財産であり、信託契約上、議決権の行使については同氏が指図権を留保しています。

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
株主確定日	定時株主総会議決権行使株主・期末配当金受領株主 3月31日、 中間配当金受領株主 9月30日 上記のほか必要ある場合は予め公告して基準日を設定。
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL: http://www.lixil-group.co.jp/ir_koukoku.htm
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711(通話料無料)
1単元の株式の数	100株
上場取引所	東京証券取引所・名古屋証券取引所

所有者別分布状況



金融機関	85,338千株
国内法人	20,587千株
外国人	126,451千株
個人その他	54,284千株
自己株式	26,392千株
合計	313,054千株

【お知らせ】

- 株主さまの住所変更、買取請求、買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行、電話0120-232-711(通話料無料))にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込をご指定の株主さまと同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになられる株主さま宛にも「配当金計算書」を送付いたしております。「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。なお、配当金を証券口座でお受け取り(株式数比例配分方式)の株主さまは、お取引のある証券会社でご確認ください。

会社概要 (2015年9月30日現在)

会社概要

社名	株式会社 LIXILグループ
英文社名	LIXIL Group Corporation
設立年月日	1949年(昭和24年)9月19日
本店	〒136-8535 東京都江東区大島二丁目1番1号
本社事業所	〒100-6036 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング36階
資本金	68,121百万円
決算期	3月31日
従業員数	50名(連結従業員数 60,119名)
主な事業内容	国内外の住生活関連事業・都市環境関連事業を営む会社の株式または持分を取得、所有することによる当該会社の事業活動の支配、管理を行っております。

お問い合わせ先

株式についてのお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行：証券代行部 0120-232-711 (左記「株主メモ」ご参照)
LIXILグループ：法務部 03-6273-3840

本誌の内容についてのお問い合わせ

LIXILグループ：IR室 03-6268-8806

株式会社LIXILの商品に関するお問い合わせ

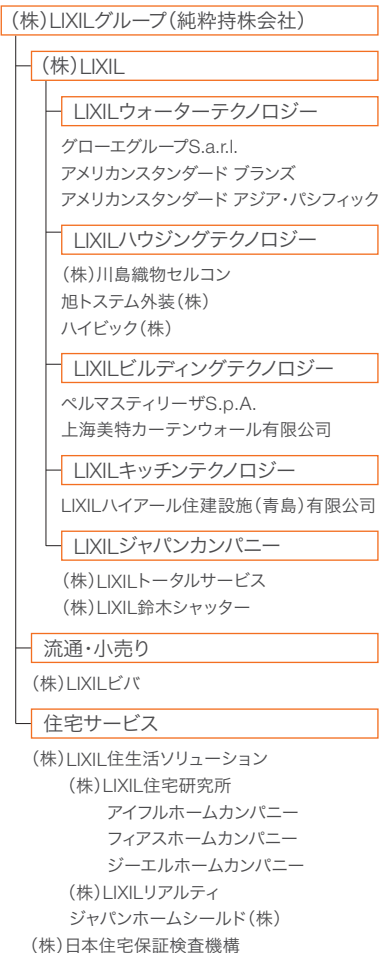
お客さま相談センターのフリーダイヤルで承ります。ブランドごとに電話番号が異なりますのでご注意ください。
受付時間 平日 9:00~18:00、土日祝日 9:00~17:00 (ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

- トステム・新日軽・TOEXブランド共通 ☎0120-126-001
- INAXブランド ☎0120-179-400
- サンウエーブブランド ☎0120-190-521

取締役

取締役	潮田 洋一郎
取締役	藤森 義明
取締役	筒井 高志
取締役	金森 良純
取締役	菊地 義信
取締役	伊奈 啓一郎
社外取締役	数土 文夫
社外取締役	佐藤 英彦
社外取締役	川口 勉
社外取締役	幸田 真音
社外取締役	バーバラ・ジャッジ

主なグループ会社・事業



免責事項

この株主通信には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績はさまざまな重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

株主優待のお知らせ

株主の皆さまのご支援、ご愛顧に感謝するとともに、より多くの株主の皆さまに事業に対するご理解を一層深めていただくことを目的として、株主優待を実施しています。

2015年9月30日現在の当社の株主名簿に記載または記録されている100株(1単元)以上を保有されている株主さまへ、「株主優待制度ご利用ガイド2015-16」と「リフォーム株主優待申込書」を本誌に同封してお送りしています。今回も①リフォーム株主優待、②生活サービス株主優待の2種類としています。株主の皆さまのご利用をお待ちしています。

1 リフォーム株主優待

日本国内の工事店が国内で行った、対象LIXIL商品を使ったリフォーム工事について、お申し込みいただいた方に、工事内容に応じて3万円・5万円・10万円のいずれかの金額の商品券をご送付します。対象期間内にリフォーム工事を完了いただき、リフォーム株主優待申込書に必要事項をご記入の上、必要書類とともにリフォーム株主優待事務局へご送付をお願いいたします。

2 生活サービス株主優待

当社の関連会社(株)くらしテルが提供する下記メニューのうちいずれか1種類について、税込価格から3,000円の割引をします。割引券は「株主優待制度ご利用ガイド2015-16」の巻末にあります。

- (1) ハウスクリーニング(エアコン・換気扇・キッチン・バスルーム等8種類の中から1つ)
- (2) ふとん丸洗いクリーニング
- (3) 9カ月保管付き衣類クリーニング

詳細は同封の「株主優待制度ご利用ガイド2015-16」をご覧ください。



リフォーム株主優待申込書 (A3サイズ)



※「株主優待制度ご利用ガイド」「リフォーム株主優待申込書」は再発行しておりませんのでご注意ください。

株式会社 LIXILグループ

本店 : 東京都江東区大島二丁目1番1号
本社事業所 : 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング36階
ホームページ : <http://www.lixil-group.co.jp/>